

70周年
祝辞

神奈川県予防医学協会が創立70周年を迎えられたことを、心からお喜び申し上げます。

貴会は、1955年の創立以来、健康診断による疾病の早期発見や健康支援、医学知識に基づいた予防医療活動など、総合健康支援活動に取り組まれ、県民の健康の保持増進に大きな貢献をしてこられました。歴代の代表理事はじめ役員の皆様の御尽力に心から敬意を表します。

さて、超高齢社会を迎えている中、子どもから高齢者まで、慣れ親しんだ地域で誰もが元気に生き生きとくらす社会の構築が求められています。

そこで、本県では、超高齢社会でも持続可能な「いのちが輝き、誰もが元気で長生きできる神奈川」の実現をめざし、ライフステージに応じて「食・運動・社

会参加」の3つを柱とする未病改善による健康寿命の延伸や、持続可能で多様化する医療ニーズに応じた質の高い保健・医療の提供、地域包括ケアシステムの深化・推進に取り組んでいるところです。

県のこうした取組も、時代が必要とする健康ニーズに応えるべく取り組んでおられる皆様のお力添えなくしては、大きな成果を上げることはできません。

皆様には、今後とも、県民の健康の保持増進に御尽力いただくとともに、県の取組にもお力添えを賜るよう、お願い申し上げます。

結びに、神奈川県予防医学協会のますますの御発展を心から祈念して、私のあいさつといたします。

神奈川県知事

黒岩祐治



70周年
祝辞

この度、貴協会が創立70周年を迎えられ、心よりお祝い申し上げます。日頃から全国労働衛生団体連合会（全衛連）の運営にご協力頂き感謝しています。全衛連は、労働安全衛生法に基づく健康診断、保健指導、産業医による職場改善指導などを実施する労働衛生機関の集まりです。全衛連は、会員機関の技術とサービスの一層の向上を図ることにより、働く人の健康と企業の産業保健活動をサポートしています。

貴協会からは、根本克幸代表理事の下、北見護専務理事が全衛連に理事として参加して頂いています。貴協会は、労働衛生機関として精度の高い健康診断をはじめ、健康教育、作業環境測定など労働衛生全般にわたり神奈川県民の健康増進と福祉の向上に寄与されています。

小職は2021年度から現職を務めていますが、2007年度から2021年度まで貴協会の理事をさせて頂きました。当時は土屋尚会長が理事長を務め、理事会を仕切っておられ、職員の皆さんがよい緊張感を持って参加されている印象がありました。

貴協会が今後も、益々のご発展を遂げて、国民の健康増進に貢献して頂くよう祈念しております。

公益社団法人
全国労働衛生団体連合会
会長

相澤好治



70周年
祝辞

創立70周年を心からお慶び申し上げます。
公益財団法人神奈川県予防医学協会は、1955年1月に神奈川県寄生虫予防協会として創立されました。そして、同年9月には、日本寄生虫予防会を東京都寄生虫予防協会他の8団体とともに設立し、同予防会の神奈川県支部となりました。まさに、私共、予防医学事業中央会の前身団体である日本寄生虫予防会が歩んできた歴史そのものであります。寄生虫予防は、戦後の混乱期に始まった寄生虫撲滅のための“草の根運動”に根差しており、寄生虫の検査と衛生思想の普及を柱にした活動を行いました。

その後、寄生虫予防から健康診断と健康教育を柱とした予防医学活動を行う財団法人神奈川県予防医学協会が1964年3月に設立され、1966年12月に本会の設立と同時に神奈川県支部になりました。

貴会は、胃がん検診をはじめとする各種がん検診を神奈川県内で先駆的に行うとともに、児童・生徒の腎臓病検診や心臓病検診、企業従業員の健康診断等を幅

広く行い、新生児の先天性代謝異常検査も先進的に行うなど、神奈川県民の健康増進と福祉の向上に大きな役割を果たしてこられました。

また、本会の設立当初から本会に対して様々な面で支えていただいております。具体的には、予防医学事業推進全国大会や全国予防医学技術研究会を複数回開催して頂くとともに、根本理事長には本会の常務理事に就任してご指導いただき、各種委員にも多くの役職員の方にご協力いただいております。感謝の念に堪えません。

貴会の70年間は、常に本会のグループの先駆的な支部として存在してこられました。これからも本会グループの範として、予防医学運動を展開されることを心から祈念しております。

公益財団法人
予防医学事業中央会
理事長

櫻林 郁之介

